団体名

Coもれび、一光と風が通る場所~

事業名

ねりまのみどりってこんなに素敵!プロジェクト

メンバー一覧

| | 氏 名 | 所 属等 |
|-------|-------------------|--------------------------------|
| Coもれび | 上野美知子 | 主宰 長野県信濃町森林メディカルトレーナー |
| | 栗和田博之 | 主宰補佐 長野県信濃町森林メディカルトレーナー |
| | 伊藤、義則 | 事業実行スタッフ 長野県信濃町森林メディカルトレーナー |
| | その他 11名 が在籍(3月1日現 | 在) |
| 区職員 | 石川 悠歩 | 協働推進課 協働事業担当係 |
| | 瀬戸 夏希 | 協働推進課 協働事業担当係 |
| | 水上 隼輔 | みどり推進課 施設係 |
| | 吉場 理人 | 子育て支援課 学校応援団・開放係 |

事業目的

~ひとの健康・地域の健康・森の健康~

練馬のみどりで森林浴、豊かなみどりの情報把握・発信、ねりま森林浴トレーナーの育成・活動を通じて、ひとの心身の健康の維持・増進、ひとのつながりと交流の広がり、練馬の魅力発信、みどりの保全に繋げる。

森林浴体験会

<u>ねりま森林浴トレーナーの</u> 育成・活動

シンポジウム

など



- ・心身の健康
- ・ひとのつながり
- ・練馬区の魅力を発信



- ・みどりの有効活用
- ・みどりの保全活動

森林浴とは?

森の中でトレーナーの案内で自然 とふれあい、五感を開く活動を通し て、心身の「リズムを整えリラック ス状態」にする活動です。

- ・風景を見る
- ・植物の香りをかぐ
- ・樹木に触れる
- ・鳥や池のせせらぎの音を聴く
- 横になって、自分だけのリラックスタイムを過ごす

など



3年間の到達目標

【3年目】





- ・森林浴の科学的効果の実証調査
- ・体験会の実施
- ・練馬の自然情報や森林浴ノウハウ の蓄積
- ・情報発信(シンポジウムやSNS)

など

・トレーナ育成講座(2年目) の内容検討・確定

【2年目】

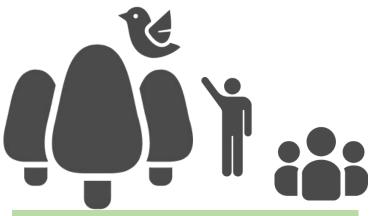


- ・森林浴トレーナー育成講座の実施
- ・トレーナーのスキルアップ

春・秋に、それぞれ「トレーナー 育成講座(4日間)」や「スキル アップ講座」を実施

- ・森林浴体験会の開催方法、場所の 拡充
- ・情報発信の継続

など



- ・多くのねりま森林浴トレーナーが 練馬の森でいろいろな森林浴活動 さまざまな森林浴活動
- ・トレーナー自ら、森林浴の活動を 企画・実行する。

(例)

- ・パパ・ママ世代20人を対象 に、ヨガを取り入れた森林浴 を、光が丘公園で実施
- ・介護職や企業の従業員の研修 メニュー
- ・トレーナーの森の保全活動
- ・都会の森林浴の区内外への広がり
- ・情報発信の継続

など

令和4年度当初の計画

取組1

「練馬のみどりで森林浴」(体験会)を、通年5回開催する。

取組2

「石神井公園」で、「実証実験(科学的効果の実証)」を実施する。

取組3

「ねりま森林浴シンポジウム」を開催する。

取組 4

「トレーナー育成講座(2年目)」の内容検討・決定する。

取組5

広報活動を拡充する(プロジェクトHP、SNS)。

その他

森林浴体験会の情報・ノウハウの収集、開催場所の下見、他団体と の連携強化等

令和4年度の取り組み結果① (練馬のみどりで森林浴)

計 90 名以上



≪石神井公園≫

- 5月23日(20名) ※実証実験
- 6月14日 (20名)
- ・9月27日 (17名)
- · 10月15日 (16名)
- 11月10日(8名) ※交流会 (つながるカレッジねりま)

≪稲荷山憩いの森≫

・3月14日 (16名)

- ※1:各体験会の参加者は口コミを中心にすぐ定員に達し、区内のみならず区外、企業、研究機関などからも参加、リピーターも多く参加。
- ※2:プロジェクトの他に、練馬西ロータリークラブに協力開催(16名参加)などあり。
- ※3:「Coもれび」としては体験会を通算15回開催。(参加者延べ286人、石神井公園、光が丘公園、井頭・稲荷山憩いの森他で実施)

令和4年度の取り組み結果② (実証実験)

調査概要

調査日:令和4年5月23日午前/午後

天 候:晴れ

場所:石神井公園

参加者:モニター20名

◆男性9名、女性11名、幅広い年齢層

調査内容

監修

Momo統合医療研究所 医師・医学博士 木村理砂 慶応義塾大学理工学部 満倉靖恵教授

練馬の森におけるトレーナーガイドによる森林浴プログラム参加者の参加前・中・後の血圧・脈拍、自律神経バランス、脳波測定による感性変化、アンケートによる主観的状態等





調査結果

- (1)精神健康度、気分尺度得点の改善 ⇒ネガティブ感情の軽減とポジティブ感情の向上
- (2)幸福度尺度得点の向上傾向
- (3)自律神経バランス ⇒より交感神経が静まり、副交感神経が高まった状態
- (4)感性アナライザー:森林ウォーク中 ⇒森林ウォーク中ストレス低下、興味度の向上、集中度の低下(リラックス)



*練馬区の森林"でも、地方の森林と同じような効果が、 あることが科学的に証明された!

令和4年度の取り組み結果③(シンポジウム)

開催概要

開催日:令和4年12月10日(土)

場 所:ココネリ研修室1

参加者:94名

一般区民、練馬区役所各部門、区内外の高齢者・福祉施設代表、 企業人事部や健保組合代表者、森林浴や自然活動家、森林医学研究者、 地域活動団体メンバー等

容

(1)講演

- (1)高力一浩(長野県信濃町森林メディカルトレーナー)
- ②木村理砂 (医師)
- (3) リ・ケイ (医師)
- (2)パネルディスカッション 講演者および地域活動団体代表、森林メディカルトレーナー
- (3)「ねりま森林浴トレーナー」のご案内 等

2022年度 ねりま森林浴シンポジウム



都会の森で元気をもらう

~練馬のみどりの森林浴効果と活用を考える~

森林浴が人々の心身に与える効果を知り、健康・ 日時 12月10日(土)福祉・子育てなどのシーンで実際に活用する方 法を事例を交えながら広く区民と考えるシンボ ジウムです。来年度から始まる「ねりま森林浴」 トレーナー制度」(2月から募集予定)の概要も



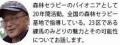
13:00~17:00 (開場 12:30)

右記の二次元コード(Googleフォーム)から



講演者・パネリスト/講演内容 バネルディスカッションには、他に自然工房めばえ海野理事長、代田森林メディカルトレーナーが参加しま

長野県信濃町森林メディカルトレーナー 木村理砂 医師





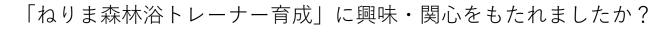


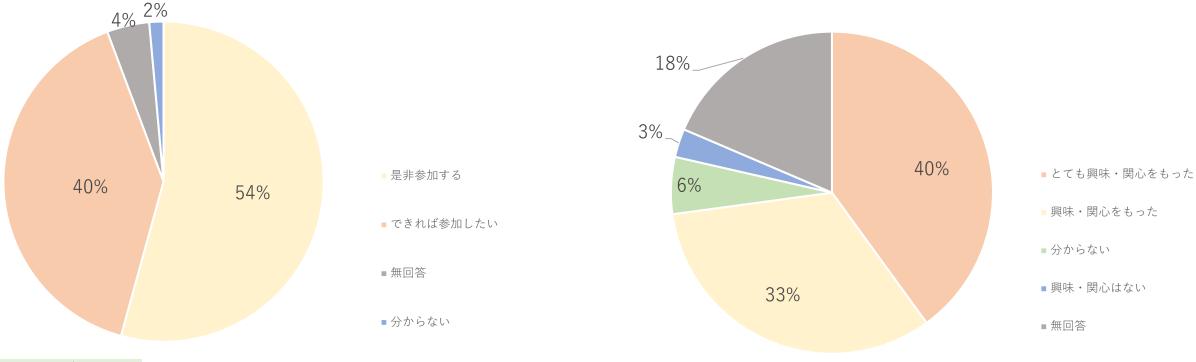




アンケート結果

次回、このような森林浴に関するシンポジウムの企画 があったら参加したいですか?





その他

- (1)参加者定員100名には、募集開始から20日で達し、都会の森の森林浴へ関心の高さを実感しました。
- (2)Coもれびのメンバーが、シンポジウム参加者から新たに「2名」加わりました。
- (3)参加者のみなさまから多くの寄付募金が寄せられました(30名以上)。

令和4年度の取り組み結果④(トレーナー育成講座)

開催内容決定

開催日: 令和5年5月9日、10日、16日、23日(全4日間)

場所:ココネリ、石神井公園等

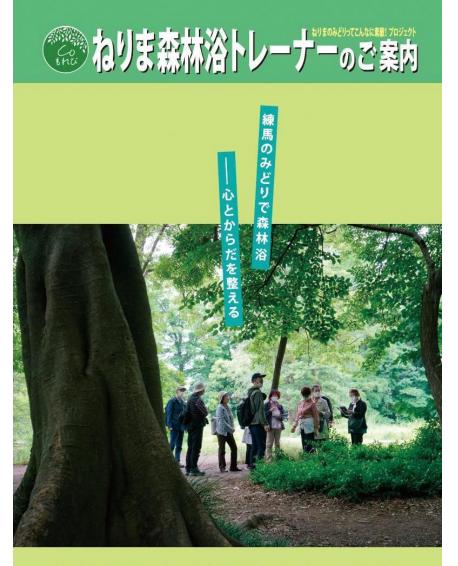
参加者:10名程度

内容

- (1)みどりの持つ力/そのエビデンス
- (2)森林浴体験の現場実習
- (3)ねりまの植物、ハーブとアロマ
- (4)傾聴とメンタルヘルス
- (5)トレーナー心得・リスクマネジメント等

講師

医師、長野県信濃町森林メディカルトレーナー、 練馬在住各分野エキスパート他



Coもれび・協働推進課 練馬区との協働事業である、地域おこしプロジェクトの一環です。

説 明 会

開催日: 2月18日・28日

場 所:ココネリ 研修室

参加者:23名

申 込 数

21名 ※3月1日時点





令和4年度の取り組み結果⑤ (HP、SNS)

プロジェクトHP

森林浴のイメージ、活動の内容をわかりやすく伝えられるようホームページを8月に開設。https://co-morebi.com/

ねりまのみどりってこんなに素敵!プロジェクト

Coもれびについて 森林浴体験のご案内 森林浴マップ お知らせ お問い合わせ



練馬のみどりで森林浴を楽しんでみませんか?



東京都練馬区は都心とは思えない自然豊かなみど りの公園がたくさんあります。

運動不足やストレス、孤独感で心身の不調を感じ やすくなっている今、遠くの森にはなかなか行く ことができなくても、練馬のみどりがみなさんの 癒やしの場になり、人のつながりを優しく見守っ てくれることを願ってこの活動を行っています。

Cosれび主宰 上野美知子

SNS

若い人にも、森林浴の魅力等を伝えるために、Twitter・Instagramの 運用を9月にスタート。



令和4年度の成果(効果)・課題

- (1)森林浴体験会、シンポジウム、SNS等を通して、「森林浴」の魅力 を伝えることができた。
- (2)実証実験から、「ねりまの森の森林浴」の効果を検証できた。
- (3)トレーナー育成講座の内容等を検討し、令和5年度の活動の準備ができた。

課題1

森林浴の効果や必要性を体得し、個性豊かで行動力のある「トレーナー」を育成する。

課題 2

「トレーナー」の活躍の場を整える。

課題3

森林浴の魅力・効果を、さらに伝えていく。

取組1

- ・「トレーナー育成講座」を春・秋に実施する。
- ・お客様を案内できるように、アシスタント (トレーナーのフォロー) の経験ができる「森林浴体験会」を実施する。

取組 2

- ・トレーナー育成講座受講者が参加する「ねりま森林浴研究会」を運営し、受講者の意見・案を、プロジェクトに反映できる環境を整える。
 - ※受講者は「ねりま森林浴トレーナー」とし、活動していく。

取組3

- 「森林浴体験会」を年間6回、新しい開催場所、開催方法、他団体・ 事業者連携等も導入し実施する。
- ・SNSを活用し、引き続き情報発信を続けていく。

令和6年度以降の展望 (美)

~ 自立した組織運営 ~

目標1

補助金がなくとも自立した組織運営ができるように、参加費、寄付金等の収入を得られる活動(企業からのオファー、イベント等)を行う。

~ 育成したトレーナーの活躍 ~

目標 2

トレーナーの質を高める講座等を企画・実施しつつ、トレーナーがやり たいことを実現できる環境を整える。

~ 「森林浴」の魅力発信の継続 ~

目標3

いろいろな「森林浴体験会」の継続的実施、「都会の森林浴シンポジウム」の開催、効果的なSNSの運用等を行う。